



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
 コード番号 6033 URL <https://www.e-xtrreme.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 TEL 03-6673-8535
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,085	△12.4	407	△47.4	385	△40.6	242	△42.9
2020年3月期第2四半期	3,521	33.4	775	566.2	648	741.4	424	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 265百万円 (△36.8%) 2020年3月期第2四半期 420百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	44.42	44.01
2020年3月期第2四半期	78.07	77.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,363	3,145	66.1
2020年3月期	4,489	3,085	62.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,883百万円 2020年3月期 2,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	△12.0	650	△52.9	635	△51.0	405	△58.1	74.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 業績予想の修正については2020年11月12日公表の適時開示資料をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,455,176株	2020年3月期	5,455,176株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	642株	2020年3月期	642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,454,534株	2020年3月期2Q	5,439,958株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により停止していた経済活動が徐々に再開されたものの、設備投資や個人消費には停滞感が強く、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループにおいては、一部の事業部門において在宅勤務を引き続き実施し、事態の長期化に備えつつ、当社社員が顧客先に常駐し、技術ソリューションを提供する「ソリューション事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,085,324千円（前年同四半期比12.4%減）、営業利益は407,939千円（前年同四半期比47.4%減）、経常利益は385,127千円（前年同四半期比40.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は242,287千円（前年同四半期比42.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<ソリューション事業>

ソリューション事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前四半期同様、新規受注が減少するとともに、一部の顧客において既存案件の継続が見送られるなどの状況が発生いたしました。一方、稼働単価は不採算プロジェクトの見直し、最適な顧客選別などの施策が奏功したことで前年同期比において上昇し、セグメント利益率は向上いたしました。なお、稼働プロジェクト数は2,922（前年同期稼働プロジェクト数は2,842）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,890,955千円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント利益は413,777千円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にソリューション事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規」「保守」「保守開発」「EPARK事業」の4つに大別されます。

子会社の株式会社E P A R Kテクノロジーズ・株式会社エクストラボ・EXTREME VIETNAM Co., LTD. についても当該事業に含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、当社受託開発部門につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が発生する以前の受注及び保守案件の積み上げにより、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は限定的なものとなりましたが、2020年5月29日付で完全子会社化した株式会社エクストラボ及びEXTREME VIETNAM Co., LTD. においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規案件に係る商談が停滞、受注が想定通り進捗しなかったことから、営業損失が発生いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,120,432千円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント損失は68,906千円（前年同四半期はセグメント損失22,174千円）となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

当第2四半期連結累計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』の運営により、ライセンス許諾先である香港紫龍互娛有限公司及び上海紫舜信息技术有限公司を通じてゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生いたしました。

なお、スマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』に係るロイヤルティ収益の計上につきましては、各許諾地域における売上集計作業及びライセンス許諾先からの収益報告に一定の時間を要すること、契約上収益に係る報告サイクルが定められていることから当第2四半期連結累計期間における当該プロジェクトに係る収益は、2020年2月～7月の6ヶ月分となっております。当第2四半期連結累計期間においては、新たな配信地域の追加がなく、サービス開始から2年以上が経過したことから、利用者数・課金者数などが緩やかに減少し、前四半期比においてロイヤルティ収益は減少となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は334,126千円（前年同四半期比54.7%減）、セグメント利益は311,506千円（前年同四半期比55.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,363,999千円となり、前連結会計年度比125,753千円の減少（前連結会計年度比2.8%減）となりました。これは主に、現金及び預金が60,535千円、投資有価証券が136,336千円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が291,969千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、1,218,879千円となり、前連結会計年度比185,056千円の減少（前連結会計年度比13.2%減）となりました。これは主に、未払法人税等が66,309千円増加した一方で、未払金が178,244千円、長期借入金が16,280千円、及び社債が18,000千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,145,119千円となり、前連結会計年度比59,302千円の増加（前連結会計年度比1.9%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方、配当金の支払により、利益剰余金が45,924千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ181,483千円増加し、1,789,399千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は503,995千円（前年同四半期は416,879千円の支出）となりました。これは、主に未払金の減少額179,079千円があったものの、売上債権の増加額291,969千円及び税金等調整前四半期純利益385,127千円などにより資金獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は24,114千円（前年同四半期は484,222千円の支出）となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入227,985千円があったものの、定期預金の預入による支出120,045千円及び投資有価証券の取得による支出105,135千円などにより資金使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は274,184千円（前年同四半期は138,062千円の収入）となりました。これは、主に配当金の支払額195,255千円などにより資金使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ソリューション事業については、部門毎の前期末稼働プロジェクト数をベースに、当期採用予定数及び離職率予想、新型コロナウイルス感染症による新規受注への影響などを勘案してプロジェクト数を算出した上で、稼働単価実績を参考に推定される収益を予想値としております。なお、当事業年度9月における月次稼働プロジェクト数実績は、478（当期首月次稼働プロジェクト数実績は519）、稼働単価実績につきましては、656千円（当期首月次稼働単価は655千円）となりました。

受託開発事業（当社受託開発部門・株式会社エクストラボ・EXTREME VIETNAM Co., LTD.）については、前期における受注実績をベースに、新規・保守・準委任契約案件に大別し、新規案件は期末時点での受注済み案件及び受注確度が高い案件の積み上げにより、予想値を算出しております。保守案件及び準委任契約案件については、前期末時点において継続中の案件及び1契約当たりの契約金額を抽出し、その積み上げによって予想値を算出しております。子会社（株式会社E P A R Kテクノロジーズ）における売上高については、株式会社E P A R Kと子会社の間で締結された業務委託契約の内容を勘案し予想値を算出しております。

コンテンツプロパティ事業につきましては、ライセンス事業が主な収益源となっておりますが、前期におけるライセンス許諾ロイヤリティ実績及びライセンスの独自予測を参考に算出した数値を予想値としております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,830,515	1,891,051
受取手形及び売掛金	1,299,916	1,007,947
有価証券	4,269	12,312
仕掛品	23,676	34,939
その他	92,113	81,358
貸倒引当金	△5,799	△4,459
流動資産合計	3,244,692	3,023,149
固定資産		
有形固定資産	75,103	68,723
無形固定資産		
ソフトウェア	60,365	60,361
ソフトウェア仮勘定	23,423	36,094
のれん	137,459	101,876
無形固定資産合計	221,248	198,331
投資その他の資産		
投資有価証券	674,593	810,929
その他	281,482	270,231
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	948,708	1,073,793
固定資産合計	1,245,060	1,340,849
資産合計	4,489,752	4,363,999

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	219,986	200,000
1年内償還予定の社債	40,500	36,000
1年内返済予定の長期借入金	52,560	42,560
未払金	595,030	416,785
未払法人税等	62,058	128,368
賞与引当金	112,752	111,832
その他	177,207	173,772
流動負債合計	1,260,095	1,109,319
固定負債		
社債	18,000	—
長期借入金	125,840	109,560
固定負債合計	143,840	109,560
負債合計	1,403,935	1,218,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	415,911	415,911
資本剰余金	414,618	409,718
利益剰余金	2,022,776	2,068,700
自己株式	△894	△894
株主資本合計	2,852,411	2,893,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,514	△7,433
為替換算調整勘定	△1,890	△2,908
その他の包括利益累計額合計	△32,404	△10,341
非支配株主持分	265,809	262,025
純資産合計	3,085,817	3,145,119
負債純資産合計	4,489,752	4,363,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,521,206	3,085,324
売上原価	2,154,682	2,102,934
売上総利益	1,366,524	982,389
販売費及び一般管理費	591,456	574,450
営業利益	775,067	407,939
営業外収益		
受取利息	8,805	15,396
その他	1,947	523
営業外収益合計	10,752	15,919
営業外費用		
支払利息	1,213	1,436
為替差損	31,527	34,233
持分法による投資損失	100,533	—
その他	4,438	3,061
営業外費用合計	137,713	38,731
経常利益	648,106	385,127
特別損失		
持分変動損失	5,684	—
特別損失合計	5,684	—
税金等調整前四半期純利益	642,422	385,127
法人税等	220,836	141,362
四半期純利益	421,585	243,765
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,101	1,477
親会社株主に帰属する四半期純利益	424,687	242,287

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	421,585	243,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△213	23,081
為替換算調整勘定	△570	△1,018
その他の包括利益合計	△783	22,063
四半期包括利益	420,801	265,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,903	264,350
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,101	1,477

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	642,422	385,127
減価償却費	8,090	20,078
のれん償却額	25,256	34,904
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,175	△919
貸倒引当金の増減額(△は減少)	143	△1,339
受取利息	△8,805	△15,396
支払利息	1,213	1,436
為替差損益(△は益)	15,271	27,813
投資有価証券評価損益(△は益)	217	1,030
持分法による投資損益(△は益)	100,533	—
持分変動損益(△は益)	5,684	—
売上債権の増減額(△は増加)	△10,585	291,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,905	△11,263
長期未収入金の増減額(△は増加)	△4,457	△3,136
未払金の増減額(△は減少)	27,620	△179,079
その他	△85,824	12,199
小計	719,051	563,425
利息の受取額	6,311	15,267
利息の支払額	△1,256	△1,438
法人税等の支払額	△307,227	△73,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	416,879	503,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△250,241	△120,045
定期預金の払戻による収入	125,584	227,985
有形固定資産の取得による支出	△20,737	△6,327
無形固定資産の取得による支出	△11,862	△20,591
投資有価証券の取得による支出	△197,165	△105,135
差入保証金の差入による支出	△4,833	—
差入保証金の回収による収入	868	—
資産除去債務の履行による支出	△800	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△59,634	—
債権譲受による支出	△65,400	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△484,222	△24,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△19,986
長期借入金の返済による支出	△28,280	△26,280
社債の償還による支出	△21,500	△22,500
自己株式の取得による支出	△97	—
株式の発行による収入	1,680	—
配当金の支払額	△113,355	△195,255
非支配株主への配当金の支払額	△5,284	△5,262
非支配株主からの払込みによる収入	4,900	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	—	△4,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,062	△274,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,287	△24,212
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	60,432	181,483
現金及び現金同等物の期首残高	1,129,675	1,607,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,190,107	1,789,399

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリューション事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,699,422	1,083,813	737,970	3,521,206	—	3,521,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,167	—	—	15,167	△15,167	—
計	1,714,590	1,083,813	737,970	3,536,373	△15,167	3,521,206
セグメント利益又は損失 (△)	363,223	△22,174	697,545	1,038,594	△263,526	775,067

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリューション事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,635,763	1,115,435	334,126	3,085,324	—	3,085,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	255,191	4,997	—	260,188	△260,188	—
計	1,890,955	1,120,432	334,126	3,345,513	△260,188	3,085,324
セグメント利益又は損失 (△)	413,777	△68,906	311,506	656,377	△248,437	407,939

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、全社費用の一部について計算方法の見直しを行った結果、一部の費用が報告セグメントごとに適切に把握することが可能となったため、合理的な配分方法に基づき各報告セグメントに対応させております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。